



今年も TAC(担い手推進課)を  
よろしくお願ひします。



No.19 平成29年1月1日  
【発行】JAこまち  
担い手推進課  
TEL:0183-78-2244

# 28年の活動報告!

今月号では TAC が担い手農家の方々を訪問し感じたことや、聞き取りした意見がその後どうなったのか、TAC 活動の実践してきた成果をまとめ、報告をします。



## 1. 特別対策品目(肥料・農薬)を新設!

私たち TAC が訪問活動をしていて、『競合店と比較すると農協は資材価格が高い』という意見がありました。具体的な対策を示すことが出来なかったところがありました。そこで TAC では課内会議を重ね関係部署へ提言し、29年度の予約注文書から特別対策品目として3品目(基肥まくモン、バッチリ、ツインターボ箱粒剤08)を低価格資材とする運びとなりました。JA 改革の一環として、いささかではありますがコスト低減への第一歩となりました。

## 2. カメムシ対策!

各地区で稲作経営に打撃を与えているカメムシ被害。TAC ではカメムシ対策に力を入れた TAC 通信を発行し、訪問活動を展開しました。被害の多い地区では営農センターと TAC が協力して地区に合った対応策による実践で、防除を徹底しました。農家の方々と農協が一体となって取り組み、地域の収益確保に繋がる結果となりました。



アカスシカスミカメ成虫

## 3. 大豆合格品率向上!

JAこまち管内の大豆が虫害や汚損により大きな損害を受けていることを課題と感じ、TAC では大豆栽培農家に品質・収量の改善をめざし大豆通信を発行しています。時期に合わせた重点作業事項や効果的な病虫害防除体系、刈取り作業の注意点等を載せた通信を随時発行しています。当初合格品率 50%に満たなかった実績が今では 70%近い合格品率となっております。今後も合格品率 70%以上を目標とし、安定生産に向けた通信を発行していきたいと思っております。

## 4. いんげん一斉どり確立を目指して!

27年度から TAC 主導で新たな収入を確保という思いで試験的に取り組んできた『いんげん一斉どり』が軌道に乗り始めています。今年度で試験2年目となり、技術的な面もだいぶ確立されてきました。訪問時に TAC 通信で提案し、生産者・販売実績ともに伸びております。作業体系を兼ね備えた栽培暦が完成し、確立に向け着実に進んでいます。



TACは29年も担い手の皆さんから聞き取りした意見・要望を、農業所得の向上や、農協事業の改善につなげていきたいと思ひますので、皆さんの声を聞かせてください!!